



生活ガラスコーティング Labo

あなたの大切なモノをキズや汚れから守ります

ハードクリスタルNEO 正規代理店

生活ガラスコーティングLabo

〒102-0082 東京都千代田区一番町8-15 一番町MYビル8F

ガラスコーティング 剤
「ハードクリスタルNEO」
について

ガラスコーティング 剤「ハードクリスタルNEO」の特徴

●いつもキレイ！

汚れがつきにくく、汚れがついてもサッと拭き取るだけ。さらに抗菌作用も。いつもキレイで気持ちがいい！
マイルドなツヤでマットなものはよりマットな風合いに。



●日本最高硬度9H！

JIS規格で日本最高硬度9Hを取得したガラス皮膜がスマホの画面や時計、アクセサリーをキズや摩耗から守ります。
また、JIS規格の衝撃試験で証明された強靭な耐衝撃性がスマホやタブレットの画面を衝撃から守ります。



●薄さなんと200nm！

ガラス皮膜は200nmと極薄であるため、メガネなどの身の回りのものにコーティング可能です。メガネのレンズが曇りにくく汚れにくくなります。防弾素材のガラスで強いけどしなやかです。



●アクセサリーにも！

キズや摩耗、汚れに強いガラスコーティングは大切なアクセサリーにも有効です。指輪、ネックレス、時計などをキズや汚れから守ります。



●次世代コーティング剤

ハードクリスタルNEOとは、耐擦傷性、耐摩耗性、耐衝撃性、抗菌性、耐候性、耐紫外線性、防塵性、防錆性を備えた次世代型ガラスコーティング 剤です。チリ、油、雨、紫外線が守り、汚れや劣化から守ります



いろいろなものに施工できます



生活ガラスコーティング Labo
あなたの大切なモノをキズや汚れから守ります

「ハードクリスタルNEO」の最大強みは膜厚の薄さと硬化スピード

●膜厚について

- ・通常のガラスコーティング剤の膜厚は3~5 μm
- ・硬度9hまで10日から2週間

ハードクリスタルNEOは**200nm** 硬度9hまで**1週間~10日**

ミクロン (μ) =マイクロメートル (μm) =100万分の1メートル

ナノメートル (nm) = $0.001 \mu m$ $200nm=0.2 \mu=0.0002mm$

シリカガラス (SiO₂ : 二酸化ケイ素) と樹脂ガラスの混合比率 = 85% : 15%。

●膜厚が薄いメリットは？

ハードクリスタルNEOは膜厚が非常に薄く、あらゆる素材への定着や素材への影響を全く受けず、素材を抗菌し、風合いを壊さず施工ができるガラスコーティング剤です。他のガラスコーティング剤とNEOの差は圧倒的な膜厚です。膜厚が5μあると皮膜は割れやすくなります。一般的なコート剤は3~7μといわれています。ただし、光沢は膜厚が有る分重厚感があり輝くとされています。NEOは膜厚が薄い分しっかり下地を作らないと光沢が出にくく、また、重厚感のある光沢と言うよりは自然な輝きになります。膜厚が厚いメリットはスマホなどの場合落としても皮膜が厚い分割れにくさはありますが、デメリットとして擦ったりすると簡単に傷が付く、柔軟性がないので皮膜が割れやすい面もある、操作性が悪い、塗り重ねができない、などがあげられます。NEOのメリットは皮膜が薄い分素材に食いつき定着しやすく、また柔軟性が有るため皮膜は割れにくい、操作性がよい、何度塗り重ねても皮膜が落ちることはないので、どんな素材にでも適応して密着します。デメリットは膜厚が薄い分落とす角度によっては簡単に割れる場合があります。



実験データ

基準第 102-60074 号
平成 28 年 4 月 6 日
2018.4.6

分析、試験等成績書

K's Garage 湘南 様

〒248-0436
神奈川県湘南市今井 706-1
神奈川県産業技術センター所長

平成 28 年 4 月 6 日に依頼のありました分析、試験等の結果は次のとおりです。

依頼の種別： デュポン式衝撃試験

依頼書記載の品名： ハードクリスチル NCG

記

試験方法
選択された試験片について、JIS K 5600-5-4 項おおり落下性 6. デュポン式に規定された方法に準拠して実験試験を行った。試験片を被膜が上になるようにして受けたと駆除し、先端の半径 0.35 ± 0.05 mm の間に取り付け、50 cm の高さから 500 g のおもりを豫め置き上へ落とした。試験片を取り出し、塗膜の表面が割れを認めた。

試験結果
全機の割れ、はがれは確認されなかった。

記

基準第 102-60073 号
平成 28 年 4 月 6 日
2018.4.6

分析、試験等成績書

K's Garage 湘南 様

〒248-0436
神奈川県湘南市今井 706-1
神奈川県産業技術センター所長

平成 28 年 4 月 6 日に依頼のありました分析、試験等の結果は次のとおりです。

依頼の種別： 鉛筆硬度試験

依頼書記載の品名： ハードクリスチル NCG

記

試験方法
選択された試験片について、JIS K 5600-5-4 鉛筆引っかきを直に規定された方法に準拠して塗膜の硬度試験を行い、痕跡を生じなかった最も高い硬度の度数を結果とした。

試験結果
94

以下空白

試験第 1 回
試験ID: 16600272 号
平成 28 年 1 月 6 日

MGSL

試験成績報告書

依頼者名： K's Garage 湘南 様
住所： 神奈川県湘南市今井 706-1

依頼者法人名： 日本文化事業文化振興会
代表取締役： 大庭智友 職業： 会社員
TEL: 03-3472-3709, FAX: 03-3472-3711

平成 28 年 1 月 6 日に(本件ID: 16600272)依頼された試験結果を以下にて報告申し上げます。

試験項目名	ハードクリスチル NCG - 1 種
試験項目	引っかき硬度試験
試験実施日	平成 28 年 1 月 6 日

試験写真

試験方法
試料を試験台上に置き、鉛筆を約 90 度で傾け、約 100 の力で押し当てる状態で鉛筆の先端を引く。痕跡を生じなかった最も高い硬度の度数を結果とした。

結果
100 の度数で鉛筆は離脱されなかった。

備考
補足： JIS K 5600-5-4 第 5 項「試験方法」第 5 項「塗膜の機械的性質」第 4 項「引っかき硬度試験」を参考に下記を定義した。

平	10	50	100	150	200
---	----	----	-----	-----	-----

試験結果に不適切な条件で実験する場合に、その結果に対する評価の妥当性を保証しない。
試験結果に付けるべき記述をしていない場合は、上記へもどり。
試験結果に記載された結果が実験結果と一致しない場合は、上記へもどり。

デュポン式衝撃実験

鉛筆硬度試験

引っかき硬度試験

JIS規格に準じています。500 g の鉄球を50 cmから落下して塗膜の割れを確認するテスト、デュポン式試験に合格しています。ただし、絶対はありませんから施工を促すときに、絶対に割れない・傷付かないなどの説明はNGです。



ガラスコーティング 競合他社

いろいろと出回っているコーティングサービスの溶剤は「G-power」の溶剤です。

- ・ハルトコーティング
- ・セイバーコーティング
- ・EGCコート・ナインハーフ
- ・メガコート
- ・ハドラスコーティング



ガラスコーティング 売価



スマホ
表裏コーティング
1,000円



タブレット
7インチ 2,000円
9インチ 3,000円
12インチ 4,000円
※いずれも表裏施工



ノートパソコン
ディスプレイ 1,500円～
ボディ表・裏 3,000円～
キーボード 1,500円～
※15インチまで承ります



メガネ、サングラス
フレーム・レンズ
2,000円



指輪・ネックレスなど
2,000円～
※現物をみてお見積もりとなります



時計
ボディー 2,000円
ベルト 2,000円～
※ベルトは現物をみてお見積もりとなります



ボールペン・万年筆
1,000円